

木のすまい新聞

「シリーズあれから3年」

家族が増えて賃貸では手狭になってきたため、家づくりをスタートされたM様。いろいろと情報収集する中で、性能の大切さを学ばれました。寒い冬に弊社の見学会に参加され、体感した高性能住宅のあまりの心地よさに衝撃を受けられたそうです。



「それまでの家づくりに対する考え方が180度変わりました。」とご主人。それからは高性能・高気密を必須条件に家事動線を考えたシンプルなお家づくりにシフトチェンジ。「実家では廊下やお風呂場がとても寒かったので家全体が暖かいというのがこんなにも快適なのかと驚いています。」と奥さま。子供たちも1年中のびのびと裸足で過ごされ、それが家の快適さを物語っています。性能を追求した住まいがM様ご家族の健康で快適な生活を叶えました。

高性能住宅との出会いが家づくりを変え、快適な暮らしを実現

わり、計画的な換気ができているので室内がいつもきれいな空気になっていて快適です。」とおっしゃいました。

ライフスタイルの変化についてお聞きすると、東と南に大きな窓を取ったおかげで日当たりが良く、家族全員早起きができるようになったそうです。また冬はこの窓から日射熱を室内に取り込みつつ、床下エアコンをゆるくつけっぱなしでも電気代はオール電化で月16000円ほど。近所のお宅に比べてかなり抑えられることを知り驚きました。

暮らされて気に入っているところは？とお聞きすると、「家に帰ってきたときに感じられる木の香りに毎日癒されています。家の中心にある吹き抜けや、南向きの大開口から光や風がたっぷり入るので明るく気持ちの良い家になりました。」とお話してくださいました。



「設計・施工」

ひょうご木のすまい協議会 正会員

日置建設 株式会社

「冷房病」にも注意が必要

これから本格的に暑い季節を向かえます。夏になると「熱中症」はよく聞きますが、逆に「冷房病」にも注意が必要になります。

夏の冷房温度は一般的には外気温のマイナス5℃といわれます。ところが一般的なエアコンで30℃の部屋をこの状態にするには、15℃～16℃に冷やした空気を毎秒3～4mの勢いで流し込まなければならぬそうです。

このような急激に冷たい気流を受けた身体は毛細血管が収縮し、全身が血行不良となります。いわゆるこれが「冷房病」といわれるもので、ひどくなると肩こり、手足のしびれ、鼻炎、喘息、膀胱炎、腹痛、下痢、むくみ、不眠症などを引き起こすこともあるようです。

人間が急激な温度変化に対応できるのは、体温のプラスマイナス5℃以内。それ以上の温度変化を頻繁に受け続けていると、体温調節機能が弱まり、その結果、さまざまな弊害を引き起こします。

ただ、ここ近年のような酷暑にはさすがに冷房がないと過ごせません。そんな時にはエアコンの除湿機能を活用したり、エアコンの設定温度を高めにし、扇風機と併用するなどし、冷やしすぎない工夫で暑い夏を乗り切りましょう。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 圭介

木の家

ひょうご木のすまい協議会

Vol. 97

July
August
2023

地域材利活用建築デザインコンテスト in 兵庫

第4回

主催／ひょうご木のすまい協議会 共催／ひょうご木づくり王国学校
協賛／ひょうご木の匠の会・兵庫県木材協同組合連合会
後援／兵庫県・兵庫県木材業協同組合連合会・神戸新聞社

審査員



三澤 文子
(Ms建築設計事務所代表)



神家 昭雄
(神家昭雄建築研究室代表)



吉井 歳晴
(WIZ/WIZ ARCHITECTS代表)



今津 修平
(株式会社Muff代表)

本コンテストはブランド材として普及が進んでいない兵庫県産木材の利用拡大を目的とし、地域材の従来にはない新しい活用やおもしろい利用や見せ方など工夫を凝らした作品を募集します。居住性やデザイン性に優れた作品はもとより、木材の良さの再発見や利用用途の拡大につながるクリエイティブな作品のご応募をお待ちしております。

エントリー

2023年4月1日(土)～2023年7月31日(月) 締切

作品提出

2023年8月1日(火)～2023年8月19日(土) 締切

公開審査

当日下記のQRコードよりご視聴ください。

2023年11月25日(土) 13:30～16:30

※事前のお申し込みは必要ありません。

※下記のQRコードは、公開審査前日まで地域材利活用コンテストのHPへアクセスします。

■ 地域材アンバサダー 同時募集中 ■

地域材利活用コンテストの

● 作品エントリー
● 公開審査のご視聴
● アンバサダーのご応募
はコチラから



詳しくは『地域材利活用建築デザインコンテスト in 兵庫 運営事務局』までお問い合わせください。TEL:0790-64-0150(月～金 10:00～16:00)